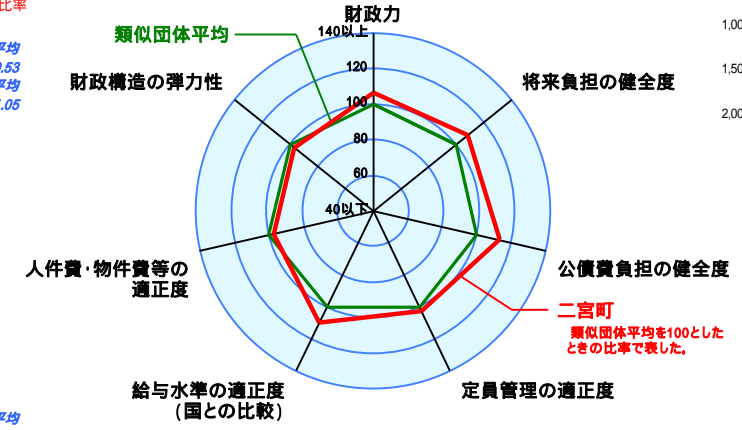
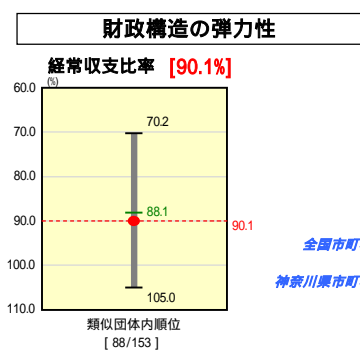
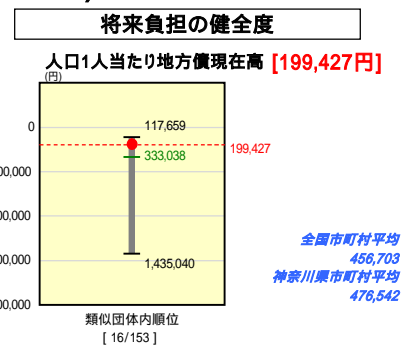
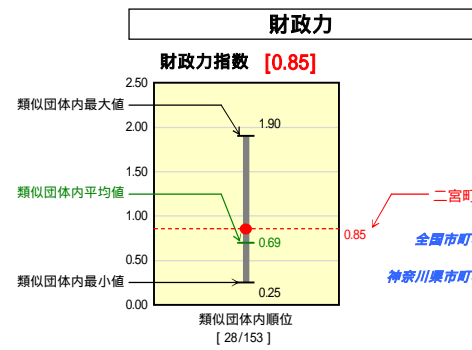


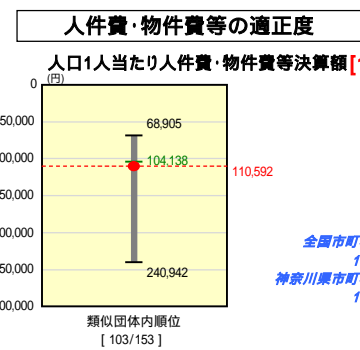
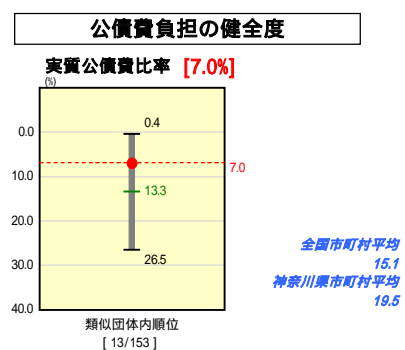
市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

神奈川県 二宮町

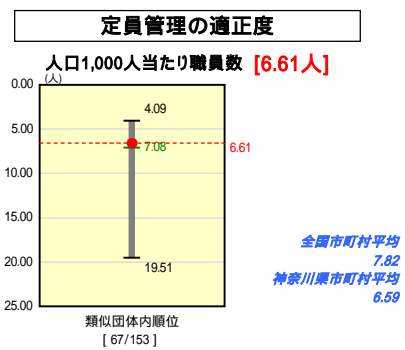
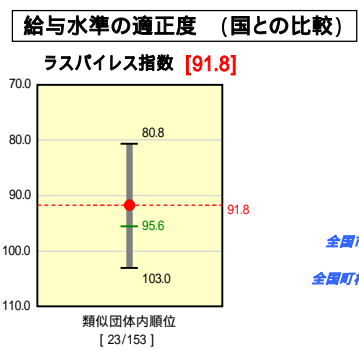
人口	30,390	人(H19.3.31現在)
面積	9.08	km ²
歳入総額	7,339,479	千円
歳出総額	7,001,085	千円
実質収支	338,394	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。



分析欄

【財政力指数】 財政力指数は類似団体平均を上回っており、近年は基準財政需要額の臨時財政対策債への振替えにより増加する傾向にある。しかし、当町の税収のうち50%前後を占める個人町民税は、働き盛りである50歳代の所得者の数及び収入の減少影響を受けているため、差押さえ等の滞り整理による収納率の向上等の歳入の確保に努めるとともに、事務事業・公共施設の再編・整理・廃止・統合について検討し、歳出削減を実施していく。

【経常収支比率】 歳出比較分析表を参照。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】 これまで外部委託の推進や需用費の見直しを行い、前年度に比べ2,778円減となっているが、まだ類似団体平均を上回っている。内訳として、ラスパイレズ指数を見ると、人件費については類似団体平均より下回っているため、その他の物件費等が類似団体平均より上回っていることになる。今後は指定管理者制度導入の検討、事務事業・公共施設の見直しなど物件費等について、コストの低減を図っていく。

【人口1人当たり地方債現在高】 過去からの起債抑制策により類似団体平均を下回っており、さらに全国市町村平均や県内市町村平均と比べると半分以下であるが、当町の財政力や財政構造の弾力性から考え、この水準を著しく超えることのないよう、優先順位をつけて投資事業を行う。

【実質公債費比率】 過去からの起債抑制策により類似団体平均を下回っており、さらに全国市町村平均や県内市町村平均と比べると半分以下であるが、当町の財政力や財政構造の弾力性から考え、今後とも投資事業については緊急性を考慮し優先順位をつけて行い、この水準を著しく超えることのないよう努める。

【人口1,000人当たり職員数】 二宮町定数条例で定められている人数は241名だが、現状では定員に達していない。その結果も反映して、類似団体平均、県市町村平均及び全国市町村平均を共に下回っている。今後、定年退職者の大量発生等も控えているため、職員の適正な定員管理に努め住民サービスの向上に繋げていく。

【ラスパイレズ指数】 類似団体平均及び全国町村平均を共に下回っているが、引き続き県下及び類似団体の給与水準等を見極めるとともに、職員の職責意識の向上及び生活の保障を図りながら給与の適正化に努める。